

## 「地域密着型金融」の推進状況の公表について

当金庫は、「平成19年度地域密着型金融推進計画」を策定し、各計画の取組み方針、具体的取組み施策および実施スケジュールに基づいて推進してまいりました。各施策については「地域密着型金融推進委員会」において検証・評価を行うことで、地域密着型金融への取組みを充実・強化しております。今般、平成19年度（平成19年4月～平成20年3月）の進捗状況について取りまとめましたので、概要を公表いたします。

### \*平成19年度地域密着型金融の推進状況\*

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(1) 創業・新事業支援	<p>① コラボ産学官千葉支部の活用により、産学官との連携を図り、取引先企業の創業・新事業支援に取り組む。</p> <p>② コラボ産学官ファンドの活用を推進する。</p>	<p>コラボ産学官は、専門的な知識、技術が必要とする中小企業と研究成果を産業に活かそうとする大学との橋渡しを行い、新産業創出を目指しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コラボ会員（地元中小企業）、大学等研究機関および千葉県他行政機関との連携を深めるため、「第1回コラボ千葉フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、大学等研究機関の産学連携への取組み事例の発表やビジネス交流会を行い、会員より様々な相談案件が寄せられ、参加者相互の連携や交流を深めることができました。</li> <li>・ コラボ会員の新事業を支援するためのファンド組成に向けて、具体的な案件審査を3件受け付けており、現在進行中であります。</li> </ul> <p style="text-align: center;">* 創業・新事業支援融資実績 35件 185百万円</p>
(2) 経営改善支援	<p>① 地域推進部を中心として、審査部、営業店と連携し、取引先企業の経営改善支援に取り組み、債務者区分のランクアップおよび、ランクダウン防止を図る。</p> <p>② 地域推進部の経営改善先とは別に、営業店による取引先の経営改善支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域推進部の取引先支援担当者6名が営業店と協力しながら平成19年度の支援対象先110先を定期的に訪問し、代表者や経理責任者等と面談し、資金繰り等のヒアリングを行い、業況把握に努めながら「経営改善計画」策定支援等に取り組みました。</li> </ul> <p style="text-align: center;">* 上記110先に対する平成19年度のランクアップ目標 10先 実績 10先</p> <p style="text-align: center;">* 平成19年度「経営改善計画」策定 目標 50先 策定先 50先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業店は独自に経営改善支援対象先を選定し、取引先企業等に定期的に訪問することで企業が抱える問題点の解決に向けた支援に積極的に取り組みました。</li> </ul>

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の強化		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(3) 事業再生	<p>①事業の再生見通しが認められ、再生が可能と判断される案件に対し、県中小企業再生支援協議会や、千葉県信用保証協会との連携により、事業再生に積極的に取り組む。</p> <p>②再生手法についての研究・検討を実施する。</p>	<p>・ 求償権消滅保証取り扱い 3先 県中小企業再生支援協議会相談案件 4先</p> <p>・ 地域推進部を中心に外部研修・セミナーに派遣し、各業種の事例を学ぶことで、担当者のレベルアップを図るとともに、企業再生の参考としました。</p>
2. 事業価値の見極めによる融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(1) 目利き機能の向上をはじめ事業価値を見極める融資＝不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底	不動産担保・個人保証に過度に依存せず、企業の動産を担保とするなど多様な手法により資金供給の円滑化を図る。	<p>・ 当金庫スコアリング商品である「スモールビジネスローン」と「活・ちば・ん（いちばん）」を一本化し、融資限度の拡大・融資期間延長等、一層利用しやすい商品に改良した「Q. Biz（キュービッツ）」の取り扱いを19年11月より開始しました。</p> <p>・ 19年12月より、木更津商工会議所会員向け無担保融資商品「Q. Biz（キュービッツ）」の取扱いを開始しました。 ※20年4月1日より7法人会、11商工会議所（木更津商工会議所を含む）、18商工会に取扱いを拡大しております。</p> <p>*平成19年度スコアリング融資（当金庫独自貸）の実行 目標150件 10億円 実績251件 20億4百万円</p> <p>・ 信金業界の仕組によるABL提携商品「しんきんMEサポート」の提携契約を締結し、20年度より発売を開始すべく、体制整備を行ないました。</p>
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	中小企業の資金調達手法のひとつとしてCLOを活用する。	<p>・ 中小企業金融公庫アレンジによるシンセティック型CLOに参加しました。 実績55件 13億円</p>

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(1) 商工会議所、商工会等との連携	各地の商工会議所との連携を図り、セミナー等を開催し、地域活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の商工会議所との連携により各種セミナーを開催しました。</li> <li>第1回 19年 6月26日 知的財産活用セミナー（当金庫佐倉研修センター 参加23名）</li> <li>第2回 19年 7月13日 中小企業会計普及啓発セミナー（千葉商工会議所 参加32名）</li> <li>第3回 19年 7月27日 IT経営実践セミナー（千葉県産業振興センター 参加19名）</li> <li>第4回 19年10月 3日 中小企業会計普及啓発セミナー（習志野商工会議所 参加19名）</li> <li>第5回 19年11月16日 IT経営実践セミナー（佐倉商工会議所 参加25名）</li> <li>第6回 20年 1月25日 IT経営実践セミナー（木更津商工会議所 参加29名）</li> </ul> <p>*19年度商工会議所との共催セミナー開催 目標年間6回 実績 6回開催（上記のとおり）</p>
(2) 地域の面的再生	<p>①地域経済動向の把握と情報還元のため、景気動向調査を実施する。</p> <p>②取引先企業に対し、ビジネスマッチングの情報提供を行なう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫取引先500先を対象に景気動向調査を年4回実施し、調査結果を「景気動向調査レポート」として（19年4月、7月、10月、20年1月）に発刊、お客様に配布しました。なお、19年10月発刊分よりホームページへの掲載も開始しました。</li> </ul> <p>*19年度景気動向調査の実施 目標年間4回 実績 4回（上記のとおり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セブンイレブンジャパンとの間でビジネスマッチングを目的とした業務提携を行いました。また、当金庫の事業者組織会である青年経営者会において、ビジネス交流会・経営セミナーを実施しました。（19年9月、35名参加）</li> </ul>
4. 信用金庫に特に求められる事項		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(1) 目利き能力の向上 人材の育成	各種研修等の実施により、営業店担当者の目利き能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査部、地域推進部、信用リスク管理部の連携による、「審査部目利き研修」を実施し、担当者の融資審査能力向上に努めました。</li> </ul> <p>*19年度「審査部目利き研修」の実施 目標年間 16回40名 実績 18回47名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先企業の中より事業計画策定対象先を選定し、経営者とのヒアリングにより課題となる点を分析する「経営改善計画書作成講座」を実施し、経営改善のお役に立つよう努めました。</li> </ul> <p>*19年度「経営改善計画書作成講座」の実施 目標年間 4回10名 実績 4回10名</p>

4. 信用金庫に特に求められる事項		
項目	取組方針	平成19年度の取組みについて
(1) 目利き能力の向上 人材の育成	各種研修等の実施により、営業店 担当者の目利き能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫職員の中小企業診断士を中心に企業分析を行い、問題点を抽出。問題点の改善策を事業計画として提案し、計画の内容は診断先企業の経営陣に直接プレゼンテーションを行ないました。この「企業実地診断」（1企業あたり8日間）の実施により、企業診断サービスと併せ、参加職員のスキルアップを図りました。</li> <li>*19年度「企業実地診断」の実施 目標年間 5回30名 実績 5回32名</li> <li>地域密着型金融をより効果的に推進するため、十分な金融手法を身につけるべく、各種庫内集合研修の実施、外部（業界団体・業界外）研修への派遣を行ないました。</li> <li>*19年度庫内研修の実施 目標 延べ46講座 972名 実績 延べ53講座 1,028名</li> <li>*19年度庫外研修への派遣 目標 延べ13講座 60名 実績 延べ20講座 99名</li> </ul>
(2) 身近な情報提供・ 経営指導・相談	地域のお客様に対し無料の各種相談 会を実施し、情報の提供や相談機能 の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当金庫本店、中央支店、成田支店にて弁護士・税理士による税務、法律相談を定期的で開催しました。</li> <li>*19年度法律相談の実施 目標年間 61回 実績 47回</li> <li>*19年度税務相談の実施 目標年間 35回 実績 29回</li> <li>社会保険労務士、当金庫専門スタッフにより各店にて年金相談会を実施しました。</li> <li>*19年度年金相談会実施 目標年間 62回 実績 62回</li> <li>19年11月に中央支店を個人特化店舗としてリニューアルオープンし、営業時間を平日は19時まで、土日は10時から16時の休日営業を実施、時間外・休日にも各種相談にお応えできるようになりました。</li> </ul>

■19年度地域密着型金融推進計画に係る数値目標に対する実績について

項目	目標	実績
庫内研修の実施	46講座 972名	53講座 1,028名
庫外派遣研修	13講座 60名	20講座 99名
苦情トラブル事例の分析・還元	4回	10回
経営改善計画策定	50先	50先
債務者区分のランクアップ※	10先	10先
スコアリング融資の実行	150件 10億円	251件 20億4百万円
共催セミナーの開催	6回	6回
目利き研修の実施	16回 40名	18回 47名
経営改善計画書作成研修	4回 10名	4回 10名
企業実地診断	5回 30名	5回 32名
法律相談の実施	61回	47回
税務相談の実施	35回	29回
年金相談会の実施	62回	62回
景気動向調査の実施	4回	4回

※地域推進部経営支援対象先110先からのランクアップ先数

■経営改善支援等の取組み実績について

【19年4月～20年3月】

	期初債務者数 A	うち 経営改善 支援取組 み先数 α	αのうち	αのうち	αのうち	経営改善 支援取組 み率 α/A	ランクアッ プ率 β/α	再生計画策 定率 δ/α	
			期末に 債務者 区分が ランク アップし た先数 β	期末に 債務者 区分が 変化し なかつた 先数 γ	αのうち 再生計画を 策定した先 数 δ				
正常先 ①	6,454	148	/	128	17	2.3%	/	11.5%	
要注意先	うちその他 要注意先 ②	909	207	21	171	25	22.8%	10.1%	12.1%
	うち要管理先 ③	121	44	4	35	3	36.4%	9.1%	6.8%
破綻懸念先 ④	319	72	7	64	4	22.6%	9.7%	5.6%	
実質破綻先 ⑤	572	8	3	5	1	1.4%	37.5%	12.5%	
破綻先 ⑥	143	0	0	0	0	0.0%	—	—	
小計 (②～⑥の)	2,064	331	35	275	33	16.0%	10.6%	10.0%	
合計	8,518	479	35	403	50	5.6%	7.3%	10.4%	

- 注) ・ 期初債務者数及び債務者区分は19年4月初時点にて整理しております。  
 ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローン  
 のみの先を含みません。  
 ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。  
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。  
 ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップ  
 した場合はβに含みます。  
 ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の  
 債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。  
 ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。  
 ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。  
 ・ 「再生計画を策定した先数δ」  
 ＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」  
 を記載しています。